(第3種郵便物認可)

国際ファッション専門職大

知多木綿を次世代へ 学生が小物デザイン

知多のギャラリーで販売



学生たちがデザインした知多木綿のオリジナルグッズを販売する「縁つむぎ市『見えない縁はこの糸から始まる』」＝知多市岡田の「ＳｏＮ」ＫＵＲＡギャラリーで

知多木綿の魅力を発信しようと、国際ファッション専門職大学（中村区）の学生がデザインした小物などを販売する催し「縁つむぎ市『見えない縁はこの糸から始まる』」が、知多市岡田の古民家レストラン「ＳｏＮ」ＫＵＲＡギャラリーで開かれている。木綿産業で栄えた古い町並みが残る岡田地区のイベント「ＣＨＩＴＡ ＭＯＭＥＮＴ」の一環。12日まで。

同大には、産地に赴いて現地が抱える課題の解決に取り組む授業がある。３年生14人が岡田地区を実習先に選び、歴史や伝統的な製法を伝える職人の技を学んだ。サブリーダーの古田ともかさん(21)は「県内にこんな素晴らしい伝統があると知り、（次世代に）どうつなぐかを考え、皆に知ってもらう努力をしなければと思った」と語る。

学生は５種類の柄をデザインし、コースターや巾着など４種類の小物にすることにした。地元の「伝承知多木綿つもぎき」のメンバーが手織りした生地で、自動車内装品の縫製を手がける「牛若」（中川区）がグッズ計約２００点を作った。つもぎきの舩本佳子（けいこ）さん(40)は「普段織る知多木綿と織り方が違うので勉強になった。明るい色が多くてかわいい」と話す。

リーダーの中原颯太さん(21)は「機械を使わず手織りで作られた知多木綿を実際に触り、完成度や温かみを感じてほしい」と呼びかける。学生がデザインした知多木綿の反物の展示のほか、10、11日にはミサンガ型のキーホルダーを作るワークショップ（体験型講座）も。午前10時～午後４時。

（平木友見子）



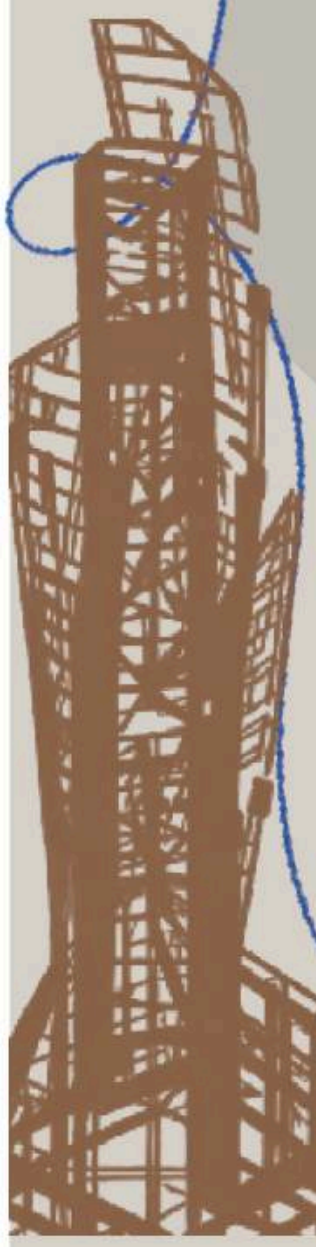
SoN

縁つむぎ市

見えない縁は、
この糸から始まる。



知多岡田で受け継がれてきた知多木綿。
一本の糸からうまれる「縁」を、
人から人へ、未来へつないでいきます。
職人の技と**国際ファッション専門職大学**学生のアイデア
を掛け合わせ、学生が柄からデザインした
手織りの知多木綿を使用したオリジナル小物を販売します。



\体験型ワークショップ/

草木染めの知多木綿の糸を使用した
オリジナルのミサンガを制作します

体験期間

10.10 sat –11 sun

\オリジナル商品販売/

手織りの知多木綿を使用した
オリジナル商品を販売します

販売期間

10.07 wed –12 mon

EVENT | **10.10** sat- **12** mon

10:00 ~ 16:00

PLACE | **SoN**

愛知県知多市岡田字東島 9 番地

PIIF（国際ファッション専門職大学）

国際ファッション専門職大学の学生 × 職人の技

＊画像はイメージです



巾着



シュシュ



コースター

主催：知多木綿連絡会
株式会社小島組
株式会社牛若

@TEORI_CHITAMOMEN

最新チェック✓